

## 編集 後記

皆さまのご協力によって「西九州リハビリテーション研究 vol. 16」を発刊することができました。今年度は、特別寄稿1編、原著論文5編、報告2編、卒業論文2編の合計10編が掲載されています。掲載にご協力いただきました皆さまに心よりお礼申し上げます。

さて、ここ数年猛威を振るっていた新型コロナウイルスが今年5月に5類に分類され、地域活動や研究活動もコロナ禍以前に戻りつつあります。私たちの生活は、コロナ禍前・後で大きく変化しました。オンラインの普及に伴い、研修会や学会など、自宅に居ながら参加できるようになりました。また家にいる時間が長くなることで、自分の趣味や家族と過ごす時間が確保できるようになり、プライベートが充実したという人もいます。コロナ禍で発展した良いことは残しつつ、今後もしリハビリテーションの発展のために寄与していきたいと思っております。

西九州リハビリテーション研究は、学外の方からも原稿を受け付けております。来年度も皆さまからの投稿をお待ちしております。

(伊藤 恵美)